

全附P連

# 表彰

2月に令和3年度PTA団体表彰の応募を開始し、貴重なPTA活動をお寄せいただきました。どの内容も子どもたちへ向けられた優しい眼差しと、コロナ禍でもPTA活動を遂行するという大人の気概を感じさせるものです。今後のPTA活動の参考になれば幸いです。

## 会長賞

### 兵庫教育大学附属小学校 PTA

本校PTAでは、文化部の役員が教育講演会を開催していますが昨年度はコロナ禍で、PTA活動が一切行われませんでした。今年度はオンラインを使っ何とか講演会ができないか検討を進め、開催することができました。テーマについては、旧知の先生に性的マイノリティー(LGBT)に関して講義いただくのはどうかと提案しました。

5、6年ほど前、私が学校評価委員をさせていただいていた時に、当時の副校長先生に「兵教大附属小でのLGBTに関する先生方の研修などはされていますか?」との問いに「全くやっていません。」との回答があり、また兵庫教育大学の学生にも「LGBTに関する授業はあるの?」と聞いても「え?LGBTって何ですか?」という感じで、その後LGBTの認識の高まりも感じてきたので、小学生のうちからこのようなテーマの話聞く機会を与えてあげるのは必要なのではないか、との思いがあったことが提案した背景でした。

保護者や児童を対象に、令和3年12月にZOOMによるオンライン講演会を実施しました。講師に前田良氏をお迎えし、「性の多様性」について、1年生～3年生の低学年向け、また、4年生～6年生の高学年向け、そして保護者向けの3部制でお話をさせていただきました。当日は、校内の二室から斉配信し、児童は各教室で視聴しました。講師の前田良さんは女性の身体で生まれ、幼少の頃から違和感を抱えておられ、25歳の時、戸籍上も男性とされた方です。

## 文化部セミナー教育講演会「性の多様性について」

「LGBTという言葉を最近よく言われますが、僕は決してLGBTの前田ではありません。一人の人間、前田良なのです。」という心強いお言葉が印象に残っています。

センシティブな内容であるため、開催に際しては細心の注意を払う必要がありました。特に注意したのが、このテーマに敏感な児童や保護者に対し、プライバシーを守りつつ、次に繋げるためにPTAとして何をすべきか、という点です。この点に関し、以下の取り組みを行いました。①まず、保護者に対しては、事前に案内を配布し、多様性について理解を深めることの提案。②質疑応答については、保護者に対しては事前に質問を無記名で募り、予め前田先生にお伝えし、当日の講演中に「回答していただく」という形式をとりました。秘密性を保つためGoogleフォームを用いてアンケートに回答してもらいました。③児童に対しては、講演を聴いた後、アンケートと併せて前田先生への質問や相談を募ることにしました。1、2年生には紙ベース、3年生以上はiPad入力とし、無記名で実施しました。児童からは100近い質問・相談が寄せられました。児童のアンケートからは、「自分らしく生きていいんだ」「悩んでいる友達がいいたら、相談にのってあげたい」「差別はいけない」「前田先生のお話をもっと聴きたい」など、児童の素直さや心の美しさを感じることができて、心が洗われるようでした。と同時に、様々な悩みを抱えている児童の存在にも気づくことができました。④当校教員に対しても「性の多様性」についてのアンケートを行いました。性の多様性に関する受講経験の有無や、講演会

の感想、また、講演中の児童の様子について、教職員先生方にヒアリングすることで、このテーマとより向き合ってもらうことができました。教職員先生方に対してアンケートを取得することは初めてのことでしたが、学校にご理解いただき、実現することができました。⑤講演会当日に視聴できなかった保護者に対して、後日アーカイブ対応を実施し、約1週間視聴できる環境を整えました。前田先生の了承のもと、保護者の部だけでなく、児童の部についても全て視聴できるようにしました。理由としては、性についてどのような内容を前田先生が児童にお話するのかを心配する保護者の不安を払拭するためと、講演を聴いている児童の様子(反応)を実際に保護者にも確認してもらうためです。保護者からは、児童の部も視聴できたことについて安心したという意見を頂いています。お互いの多様性を認め合うことの大切さを学ぶ機会を小学校生活で体験できたことは、今後グローバル社会を生きていく子どもたちには大変有意義であったと思えます。

